

2018年10月19日

愛知製鋼株式会社

愛知製鋼グループ社員が森林育成ボランティアに参加

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、長野県王滝村で行われる森林育成ボランティアに賛同し、10月13日（土）のボランティアに総勢40名が参加しました。

長野県王滝村などを水源とする愛知用水が、知多半島の農業・工業・人々の暮らしの生活のために必要不可欠な存在であることから、当社グループでは、愛知用水の水源を守る活動の一環として2006年から毎年継続して本ボランティアに参加しています。今回も当社グループの23名に加え、大学生の実行委員で構成される「企業の森 命をつなぐPROJECT」メンバーから14名、そして王滝村の職員3名が参加し、お互いに交流を深めながら活動に取り組みました。

当社は、知多半島生態系ネットワーク協議会事業の一環である「命をつなぐPROJECT」に参画し、社有地の中新田地区に「カブトムシのすむ森づくり」を進めています。11月11日（日）に予定している「工場のふれあいイベント」や「森²（もりもり）イベント」などで、今回の除伐作業によって伐採した木材を、本取り組みの中で、ネイチャークラフトの材料にしたり、緑地整備の柵や杭などに活用することを予定しています。

今後も当社は、グループ一体となって積極的に社会貢献活動を推進することで、いつまでもこの地にあり続けてほしいと願っていただける企業への年輪的成長を目指していきます。



協力して密集する立木を間引き、健全な木の育成を促す作業を行いました



多くのグループ社員が参加しました